

第2号報告資料

令和4年度事業報告書

(令和4年2月1日から令和5年1月31日まで)

①会員の研究発表会，学術講演会等の開催（定款第4条第1号）

- ・第122回日本外科学会定期学術集会をハイブリッド形式で行った。
日時 令和4年4月14日～16日
場所 熊本城ホール（熊本市）
参加者数 17,245名 演題数 3,195題
テーマ「外科学の未来を拓く—The Future of Surgery—」
- ・外科系サブスペシャルティ学会と共同して，学術集会の在り方を検討した。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を運用し，検証した。

②機関誌，論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を奇数月に電子ジャーナルとして発行し，希望により配本した。
- ・「日本外科学会雑誌」の過去分のアーカイブ化を進めると共に，企画のリニューアルを検討した。
- ・Official Journal「Surgery Today」を毎月電子ジャーナルとして発行した。
- ・Case Report 誌「Surgical Case Reports」を毎月電子ジャーナルとして発行した。
- ・外科専門医試験の過去問題集を書籍化し，発刊した。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・German Surgical Society (GSS)，American College of Surgeons (ACS)，Society of University Surgeons (SUS)，College of Surgeons of East, Central and Southern Africa (COSECSA)，The Association of Surgeons of India (ASI) などと持続可能な学術交流を行い，若手外科医の交換発表などを行った。
- ・Royal College of Surgeons England (RCS) と International Surgical Training Programme (ISTP) の partner Institution について再協議し，研修先の調整を行った。
- ・日本医学会，日本医学会連合，日本医療機能評価機構，日本女性外科医会の活動に積極的に参画した。
- ・外科系18学会と外科関連学会協議会を組織して，外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。

④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・標準手術ビデオを5本作成して，ビデオライブラリーに収載した。
- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に基づき，該当者から利益相反自己申告書を回収した。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・日本専門医機構との業務契約の下、「外科領域専門研修プログラム」を審査し、専攻医の研修登録を行い、専攻医の研修状況を管理すると共に、そのためのWebシステムの改修を行った。
- ・日本専門医機構と協働して、専門医共通講習および外科領域講習を開催する（eラーニングを含む）と共に、関連学会が開催する専門医共通講習および外科領域講習について審査を行った。
- ・日本専門医機構と協議の上で、外科専門医の更新の要件を外科系サブスペシャリティ学会と共に検討した。
- ・外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定した。
- ・外科専門医の筆記試験（予備試験）をCBT方式で実施し、外科専門医認定試験を文書審査によって実施した。
- ・外傷講習会をeラーニングで配信し、また、日本外傷診療研究機構、日本Acute Care Surgery学会、日本腹部救急医学会、日本外傷学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化した。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・臨床研究セミナーをeラーニングで配信した。
- ・Surgery Todayの優秀論文賞（Best Surgery Today Award）として6名を表彰した。
- ・Surgery TodayのBest Citation Awardとして7名を表彰した。
- ・Surgery TodayのBest Reviewer Awardとして6名を表彰した。
- ・Surgical Case ReportsのBest Reviewer Awardとして5名を表彰した。
- ・第122回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な9演題を「最新手術シリーズ」としてビデオライブラリーに収載して、制作補助費を支給した。
- ・「日本外科学会臨床研究助成」（JSS Clinical Investigation Project Award）として1名を選考し、補助金を支給した。
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）として5名を選考し、補助金を支給した。
- ・National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨るNCDデータを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務めた。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・教育セミナーをeラーニングで配信した。
- ・eラーニングシステムのリニューアルを行った。
- ・40歳以下の若手会員（U-40）を中心として、外科医教育の在り方を検討した。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・National Clinical Database（NCD）に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・関連学会と協働して、「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン（Guidelines

for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine)」に基づく Cadaver Surgical Training (CST) の普及を図った。

- ・ AMED の委託を受け、引き続き「手術支援ロボットを用いた遠隔手術のガイドライン策定に向けた実証研究」を行い、「遠隔手術ガイドライン」を作成した。
- ・ 日本医学会連合と協働して、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の対策を検討した。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発 (定款第 4 条第 9 号)

- ・ 広報活動として、第 48 回市民講座を Web で開催し、動画配信を行った。

日時 令和 4 年 4 月

テーマ「がん治療の未来を拓く～がん治療の最前線を丁寧に説明します～」

- ・ SNS などを活用した周知・広報活動を検討した。

⑩医療政策に関する建議 (定款第 4 条第 10 号)

- ・ 外科系学会社会保険委員会連合 (外保連) に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・ 「医療事故調査・支援センター」(日本医療安全調査機構) の支援団体として、死因の調査分析事業に協力した。
- ・ 「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力した。
- ・ 「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し、外科医の労働環境の改善に向けたタスクシフトの普及を図ると共に、厚生労働省の医師の働き方改革における集中的技能水準 (C-2 水準) の審査に協力した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業 (定款第 4 条第 11 号)

- ・ 役員の選任を行った。
- ・ 代議員定数の見直しを行った。
- ・ 会員制度を見直すと共に、会員管理システムリニューアルの委託業者の選定を行った。
- ・ 財務の健全化に向けた検討を行った。

令和4年度事業報告 附属明細書

①会員の研究発表会，学術講演会等の開催の明細

・第122回日本外科学会定期学術集会の明細

日時：令和4年4月14日～16日（アーカイブ配信は5月31日まで）

場所：熊本城ホール（熊本市）

参加者数：17,245名 演題数：3,195題

テーマ：「外科学の未来を拓く—The Future of Surgery—」

②機関誌，論文図書等の刊行の明細

・学会誌「日本外科学会雑誌」の発行の明細

発行年月日	巻	号	発行部数
令和4年3月1日	123	2	9,060
令和4年5月1日	123	3	9,360
令和4年7月1日	123	4	9,390
令和4年9月1日	123	5	9,310
令和4年11月1日	123	6	9,320
令和5年1月1日	124	1	9,370

・Official Journal「Surgery Today」の発行の明細

発行年月日	巻	号
令和4年2月1日	52	2
令和4年3月1日	52	3
令和4年4月1日	52	4
令和4年5月1日	52	5
令和4年6月1日	52	6
令和4年7月1日	52	7
令和4年8月1日	52	8
令和4年9月1日	52	9
令和4年10月1日	52	10
令和4年11月1日	52	11
令和4年12月1日	52	12
令和5年1月1日	53	1

・Case Report誌「Surgical Case Reports」の発行の明細

発行年月日	巻
令和4年2月1日	8
令和4年3月1日	8
令和4年4月1日	8
令和4年5月1日	8
令和4年6月1日	8
令和4年7月1日	8
令和4年8月1日	8

令和4年 9月1日	8
令和4年 10月1日	8
令和4年 11月1日	8
令和4年 12月1日	8
令和5年 1月1日	9

③内外の関係学術団体との連絡及び提携の明細
特になし

④外科学に関する研究及び調査の明細

- ・標準手術ビデオの作成の明細（5名）
大木 隆生（東京慈恵会医科大学血管外科）
「手術不能弓部大動脈瘤に対する枝付きステントグラフト術：Retrograde In-situ Branched Stent-grafting（RIBS法）」
- 平松 昌子（高槻赤十字病院外科）
「食道癌手術における回結腸動静脈を温存した有茎回結腸再建術」
- 鈴木 眞一（福島県立医科大学甲状腺内分泌学）
「内視鏡下甲状腺切除術（AAA-ETS）について」
- 中村 雅史（九州大学臨床・腫瘍外科）
「ロボット支援下降切除術」
- 土田 正則（新潟大学呼吸循環外科）
「左上葉切除後の第二癌に対する残存肺全摘術」

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用の明細

- ・外科専門医の認定：1,420名（うち日本専門医機構認定：1,278名）
- ・外科専門医の更新：4,483名
- ・認定登録医の移行：326名
- ・外科専門医の特例更新：31名
- ・認定登録医の特例更新：39名
- ・外科専門医の移行：22名
- ・認定登録医の更新：650名
- ・指導医の選定：267名
- ・指導医の更新：1,170名
- ・指導医の再選定：33名
- ・指定施設の指定：111施設
- ・関連施設の指定：993施設

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰の明細

- ・Surgery Todayの優秀論文賞（Best Surgery Today Award）の明細（6名）
一般・小児：矢本 真也（静岡県立こども病院小児外科）
「Optimal timing of surgery in infants with prenatally diagnosed isolated left-sided con-

genital diaphragmatic hernia: a multicenter, cohort study in Japan」

消化管：佐々木 健（鹿児島大学大学院消化器・乳腺甲状腺外科学）

「Comparison of greater curvature and lesser curvature circular-stapled esophagogastrotomy after esophagectomy in patients with esophageal cancer: a prospective randomized controlled trial」

呼吸器：椎谷 洋彦（東京大学医学部附属病院呼吸器外科）

「Outcomes of lung transplantation for idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis」

乳腺・甲状腺：柴田 雅央（名古屋大学医学部附属病院乳腺・内分泌外科）

「Identifying the tumor-progressive gene expression profile in high-risk papillary thyroid cancer」

心臓血管：折居 衛（名古屋第一赤十字病院心臓血管外科）

「Use of a cutting stapler to excise a left atrial appendage in minimally invasive cardiac surgery」

肝胆膵・移植：伊関 雅裕（東北大学病院肝胆膵外科）

「The evaluation of the safety and efficacy of intravenously administered allogeneic multilineage-differentiating stress-enduring cells in a swine hepatectomy model」

・Surgery Today の Best Citation Award の明細（7名）

渡邊 雅之（がん研有明病院）

「Recent progress in multidisciplinary treatment for patients with esophageal cancer」

徳永 正則（東京医科歯科大学消化管外科学分野）

「Perioperative chemotherapy for locally advanced gastric cancer in Japan: current and future perspectives」

渡邊 学（東邦大学医療センター大橋病院外科）

「The COVID-19 Pandemic in Japan」

幕内 梨恵（がん研有明病院（当時：静岡がんセンター））

「Esophagojejunal anastomotic leakage following gastrectomy for gastric cancer」

尾原 秀明（慶應義塾大学外科）

「Current management strategies for visceral artery aneurysms: an overview」

柴崎 晋（藤田医科大学）

「Should robotic gastrectomy become a standard surgical treatment option for gastric cancer?」

武野 慎祐（宮崎大学医学部）

「Aorto-esophageal fistula: review of trends in the last decade」

・Surgery Today の Best Reviewer Award の明細（6名）

梅邑 晃正（岩手医科大学消化器外科）

稲木紀幸代（金沢大学医薬保健研究域医学系消化管外科学/乳腺外科学）

有上 貴明（鹿児島大学がん病態外科学）

仲田 興平（九州大学臨床腫瘍・外科）

岡林 剛史（慶應義塾大学医学部一般消化器外科）

山口 正史（北九州市立医療センター呼吸器外科）

・Surgical Case Reports の Best Reviewer Award の明細（5名）

- 武野 慎祐 (宮崎大学医学部外科学講座)
- 杉町 圭史 (国立病院機構九州がんセンター肝胆膵外科)
- 宗方 幸二 (大阪大学医学部附属病院)
- 林田 和之 (熊本赤十字病院)
- 柴田 智隆 (大分大学医学部附属病院)
- ・最新手術シリーズの授賞者の明細 (9名)
 - 石山廣志朗 (国立がん研究センター中央病院食道外科)
 - 「完全ロボット食道切除術の周術期治療成績～胸腔鏡との比較検討～」
 - 清松 知充 (国立国際医療研究センター外科)
 - 「直腸癌ロボット手術における術中リアルタイム超音波を用いた手術の定型化」
 - 渡邊 純 (横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター外科)
 - 「局所進行下部直腸癌に対する近赤外光観察併用腹腔鏡下方郭清の短期・中期成績」
 - 仲田 興平 (九州大学臨床・腫瘍外科)
 - 「鏡視下膵頭十二指腸切除術における左側からの膵頭部授動および SMA アプローチ」
 - 福本 絃一 (名古屋大学呼吸器外科)
 - 「胸膜播種 IVa 期胸腺腫に対する導入化学療法後の胸膜肺全摘術」
 - 伊藤 弘毅 (静岡県立こども病院心臓血管外科)
 - 「完全大血管転位症に対する大動脈スイッチ術後の大動脈弁形成および基部形成」
 - 垂野 香苗 (昭和大学乳腺外科)
 - 「新規磁気プローブを利用した乳癌手術への取り組みと今後の展望」
 - 古賀 寛之 (順天堂大学小児外科)
 - 「Advanced Pediatric Endosurgery Lessons learned from our experience」
 - 岡 和幸 (島根大学 Acute Care Surgery 講座)
 - 「重症外傷患者救命には Hybrid ER ではなく HERS (Hybrid ER SYSTEM) が重要である～ハードではなく運用システムの重要性～」
 - ・「日本外科学会臨床研究助成」(JSS Clinical Investigation Project Award) の授賞者の明細 (1名)
 - 長谷川 潔 (東京大学肝胆膵外科)
 - 「切除可能大腸癌肝転移に対する有効な集学的治療法の開発」
 - ・「若手外科医のための臨床研究助成」(JSS Young Researcher Award) の授賞者の明細 (5名)
 - 高森 信吉 (九州大学消化器・総合外科)
 - 「切除可能非小細胞肺癌患者におけるマイオカインの生物学的意義の解明」
 - 谷合 智彦 (東京慈恵会医科大学外科学講座肝胆膵外科)
 - 「癌免疫微小環境を標的とした高悪性度肝細胞癌に対する革新的治療の開発」
 - 得居 龍 (大阪大学乳腺・内分泌外科)
 - 「再生医療技術を用いた新しい乳房再建に関する前臨床研究」
 - 広藤 愛菜 (旭川医科大学外科学講座心臓大血管外科学)
 - 「Myc による心筋細胞分裂誘導メカニズムの解明と心筋再生治療の基盤構築」
 - 山田真一郎 (徳島大学消化器・移植外科)
 - 「Nrf2 を基軸とした癌微小環境クロストークによる肝細胞癌レンバチニブ耐性機序の解

明に関する研究」

⑦生涯学習活動の推進の明細

特になし

⑧外科診療に関する情報や指針の提供の明細

特になし

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発の明細

・第48回市民講座の明細

配信期間：令和4年4月25日～5月31日

テーマ：「がん治療の未来を拓く～がん治療の最前線を丁寧に説明します～」

⑩医療政策に関する建議の明細

特になし

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業

特になし